

第6回「原発事故被災地域における放射線量マッピングシステムの技術開発・運用とデータ解析に関する研究会」および第390回生存圏シンポジウム「第8回東日本大震災以降の福島県の現状及び支援の取り組みについて」プログラム  
 2018年12月11～12日 於 コラッセ福島 会議室 402AB

2018年12月11日

13:10	開会挨拶 上田義勝（京都大学）
	司会：上田義勝
13:30	谷垣実（京都大学） KURAMA-II の現状と今後
14:00	安藤真樹（JAEA） KURAMA-II を用いた走行及び歩行サーベイによる空間線量率の経時変化評価
14:30	津野浩一（国際航業） 放射線量マッピングのための屋内外測位技術の現状
15:00	休憩
15:15	二瓶直登（東京大学） KURAMA を用いた農業環境中の放射性セシウム分布
15:45	後藤淳（新潟大学） 指向性がある自動車走行サーベイシステム ASURA の開発と測定例の紹介
16:15	百田佐多生（高知工科大） CsI 検出器を用いた土壌中の放射性セシウム分布の推定
16:45	酒井広行（福島県放射線監視室） 「ふくしまの復興と未来」～ 複合災害から8年目を迎えたふくしまの今 ～
17:15	藤村恵人（農研機構） 土壌中交換性カリ含量の低下にともなう玄米放射性セシウム濃度の上昇リスクの予測
17:45	石井秀樹（福島大学） 土壌スクリーニング計測器の性能評価と土壌スクリーニング PJ からの示唆
19:00	情報交換会（於 松島屋旅館）

2018年12月12日

09:30	久保堅司（農研機構） 畑作物への放射性セシウムの移行低減対策と営農再開に向けた取り組み
10:00	黒沢高秀、曲渕詩織（福島大学） 東日本大震災とその後の復旧事業による生物多様性への影響の定量評価
10:30	齋藤隆（福島県農業総合センター） 避難指示区域等における KURAMA を活用した研究の取り組み
11:00	休憩
11:10	Rattanaorn Norarat (Rajamangala University of Technology Lanna) Introduction of Collaborative Study between Rajamangala University of Technology Lanna, Iwate University and Kyoto University
11:40	加藤和明、豊田亘博、熊澤蕃（KEK、豊田放射線研究所、JAEA） 福島原発事故（2011）対応の遡及的考察：この7年間に得られた"次の事故対策"に生かすべき"知見"は何か
12:10	水野義之（京都女子大学） 福島原発事故後に起こった自然放射線・四要素の新知見によるデータ更新
12:40	閉会挨拶 谷垣実（京都大学）